

著者略歴

谷田貝 光克 (やたがい みつよし)

1943年 栃木県宇都宮市生まれ。
1966年 東北大学理学部化学科卒業。
1971年 東北大学大学院理学研究科博士課程修了、理学博士(化学)。
1972年 米国バージニア州立大学化学科博士研究員。
1974年 米国メイン州立大学化学科博士研究員。
1976年 農林水産省林業試験場林産化学部研究員。
1985年 農林水産省林業試験場炭化研究室長。
1988年 農林水産省森林総合研究所生物機能開発部生物活性物質研究室長。
1992年 農林水産省森林総合研究所森林化学科長。
1999年 東京大学大学院農学生命科学研究科教授、現在に至る。

専門分野は、天然有機物化学。現在の研究分野は、植物、特に樹木に含まれる生物活性物質の特性の解明、利用技術の開発、生態系での生物活性物質の役割の解明とその利用、木炭・木酢液の利用技術の開発、など。

主な受賞として、1985年に第25回日本木材学会賞、1992年に科学技術庁長官賞(研究功績者)、など。

公的活動としては、樹木生理機能性物質研究組合技術開発委員会委員長、住環上技術研究組合技術開発委員会委員長、東京農工大学非常勤講師(植物成分化学)、木質炭化学会会長、グリーンスピリッツ協議会会長、農学生命科学研究支援機構理事長、など。

主な著書として、フィトンチッドと森林浴(1985年、林業科学技術振興所)、木材の化学成分とアレルギー(共訳、1987年、学会出版センター)、森のふしぎな働き(1989年、農文協)、簡易炭化法と炭化生産物の新しい利用(共著、1991年、林業科学技術振興所)、森林の力(1993年、現代書林)、森林の不思議(1995年、現代書林)、木のふしぎな力(1996年、文研出版)、よい煙わるい煙を科学する(2002年、中経出版)、香りと環境(共編著、2003年、フレグランスジャーナル社)、香りの百科事典(編集委員長、2005年、丸善)、フィトンチッドってなに?(2005年、第一プランニングセンター)、など。

上記の現職は著書発行年月日現在のものです。